⑬【長野赤十字病院】※脳神経外科志望者のみ研修可能

住 所	〒380-8582 長野県長野市若里 5-22-1		病床数：700床
診療科目	内科、血液内科、呼吸器内科、感染症内科、腎臓内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、小児科、精神科、神経内科、膠原病リウマチ内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、小児外科、リハビリテーション科、リウマチ科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、臨床検査科、歯科口腔外科		
研修責任者名	天野 芳郎 (臨床研修センター長)	連絡先：kennsyuui@nagano-med.jrc.or.jp 026-226-4131 (代表)	連絡先担当者名：竹内 智子 (医師業務支援課 臨床研修担当)
新臨床研修医指導実績	・新潟大学医歯学総合病院プログラム採用 平成23年度：0人、24年度：0人、25年度：0人、26年度：0人、27年度：0人、28年度：0人、29年度：0人、30年度：1人、令和元年度：0人、2年度：0人 ・その他プログラム採用 平成23年度：7人、24年度：10人、25年度：9人、26年度：11人、27年度：13人、28年度：12人、29年度：10人、30年度：12人、令和元年度：13人、2年度：13人		
研修受け入れ可能診療科※	学会認定専門医数	学会認定指導医数	
必修：内科（血液内科、循環器、消化器、呼吸器、糖尿病・内分泌、腎臓、神経）、救急部、外科（呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科、心臓血管外科、消化器外科）、小児科、産婦人科、精神科 選択研修：脳神経外科、麻酔科	内科（内科）27人、内科（血液内科）8人、内科（循環器）7人、内科（消化器）9人、内科（呼吸器）3人、内科（糖尿病）2人、内科（腎臓）3人、内科（神経）5人、救急4人、外科（外科）11人、外科（消化器）4人、外科（心臓血管）3人、小児科4人、産婦人科4人、精神科3人、脳神経外科4人、麻酔科5人	内科（内科）27人、内科（血液内科）4人、内科（循環器・インターベンション学会）1人、内科（消化器）3人、内科（呼吸器）3人、内科（糖尿病）1人、内科（腎臓）1人、内科（神経）3人、救急4人、外科（外科）5人、外科（消化器）2人、外科（心臓血管）3人、小児科1人、精神科3人、脳神経外科2人、麻酔科5人	
施設の概説・特徴			
明治4年頃、近隣の開業医が長野市内大門付近に共同医学所を開設し、重症及び病態不明の患者を集め診察にあたることに、医師の育成教育を行ったのが病院の起源とされています。その後、「共立長野病院」「公立長野病院」「長野市立病院」と変遷を重ね、明治37年「日本赤十字社支部病院」として発足し、昭和58年長野市若里（現在地）に新築移転しました。赤十字病院としては平成26年に110周年を迎えました。現在許可病床数700床、救命救急センターを有し、1日の外来患者数も約1400人と、長野県北信地域を代表する中核基幹病院として、救急医療をはじめ、地域支援・病診連携に重点をおいた信頼される医療活動を展開しています。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
血液内科：血液悪性腫瘍、止血異常疾患などの血液疾患全般及びHIV感染症に関する診療を行っています。 消化器内科：上部消化管、下部消化管をはじめとして膽道疾患、肝疾患など消化器疾患全体を網羅して診療を行っています。 糖尿病・内分泌：糖尿病を代謝異常のみを是正するという立場だけではなくむしろ背後にある疾患の発見、診断治療が重要と考えて診療を行っています。 呼吸器内科：当科の入院患者は、肺癌、肺炎、肺気腫や肺結核後遺症などの慢性呼吸器不全、自然気胸が多くを占めています。 神経内科：科全体として、すべての神経内科疾患に対応できる偏りのない診療が可能です。（膠原病リウマチ内科含む） 循環器科：循環器疾患全体にわたって診療しており、救急疾患については365日24時間体制で積極的に取り組んでいます。 産婦人科：婦人科では悪性腫瘍、子宮筋腫、子宮脱、不妊症などを中心に診療を行い、産科では通常の妊婦健診に加え、いわゆるハイリスク妊娠の治療を行っています。 小児科：長野県北信地域の小児医療の中核をなし、新生児医療では、地域周産期センターとして重症新生児を受入れ、集中治療を行っています。 外科：長野県北部の中核病院として、消化器外科（食道、胃、大腸、肝胆膵、ヘルニア、急性腹症など）、乳腺・内分泌外科（乳腺、甲状腺など）呼吸器外科（肺、縦隔など）領域の疾患に対して手術を行っています。 脳神経外科：専門医3人体制で中枢神経系疾患のほとんどを扱っています。 総合病院の利点を生かし、各科各部門との緊密な連携のもと、CT、MRI脳血管撮影装置、SPECTなどの最先端診断装置を利用し、より良い医療を提供するべく努力しています。			
研修の概説と特徴			
1年目の内科研修では一つの科を2ヵ月ずつローテートし、計6ヵ月の研修を行います。外科は一般外科を2ヵ月間、救急は2ヵ月間プラス救急外来時間外診療を月4回以上行います。 また、原則1年目に小児科研修を1ヵ月研修します。これは当直時の小児患者が多い事に対応したものです。 基本的に各研修科の指導医についての研修になりますが、内科・小児科等の症例検討会などにも参加してもらいます。			
時間外救急外来診療			
平均月4回の準夜帯（17：00～24：00）・休日日勤帯の救急外来時間外診療を行います。救急患者のファーストタッチを行い、トリアージの経験を重ね、指導医・上級医と相談し治療を行います。救急外来は、救急当直、内科系、外科系医師各1名とともに研修医が対応します。その他にNICU担当（小児科医師）、ICU担当、EICU担当、産科担当の医師が院内に待機しています。			
処 遇			
●給与：1年次（月額基本給）253,100円（諸手当）医師確保手当67,965円 2年次（月額基本給）268,100円（諸手当）医師確保手当90,215円 ●食事：院内には、食堂、喫茶室、売店があり、病院周辺には、ファミレスなどの飲食店が多数ありますので不自由はありません。 ●宿舎：借り上げ宿舎あり 住居手当（上限28,500円） ●居室：研修医専用の居室あり。近くにシャワー室、仮眠室あり。 ●図書・文献：各種資料検索のための図書室があり、24時間利用可能です。医学中央雑誌WEB、JDREAM利用できます。インターネット可能な端末も整備されています。国内雑誌約120タイトル、外国雑誌約75タイトル、メディカルオンライン、クリニカル・キー、MEDLINE with Full Text、シュプリンガー・リンク等契約中。 ●インターネット環境：各自の机からインターネット接続が可能			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。